



トヨタ・コニック株式会社

業種 マーケティング会社

従業員数 約700名（グループ全体 / 2025年）

URL <https://toyotaconiq.co.jp/>

本社所在地 東京都千代田区

取組の特徴

「焚き火」を通して深い対話・内省による新たな発想を生み出す「合宿型オフサイトミーティング」の導入



実施地域 森林サービス産業推進地域「群馬県長野原町地域」

受入組織 [TAKIVIVA](#) ((有)きたもっく)

実施概要

誰でも気軽に自然空間を体感できる、焚き火に集う宿泊型ミーティング施設「TAKIVIVA」において、チームやプロジェクトの方向性を検討する「合宿型オフサイトミーティング」を導入することで、チームビルディングに加えて新たな発想を生み出している。また、自らの働く中での幸せや意義を振り返ることで、働くモチベーションを高めている。

導入の経緯と決め手

- 有識者から紹介を受け、焚き火に集う宿泊型ミーティング施設「TAKIVIVA」を初めて利用。施設運営会社・(有)きたもっくの企業理念やスタッフの人柄に共感し、自社の合宿研修や、自社提供の「しあわせワークショップ」の開催場所で利用を開始。
- アウトドア施設であるが清潔感があり、ファシリティも充実しており、誰でも気軽に自然空間を体感できる特徴に加え、初期に役員等が体験して価値を理解したことが決め手。

プログラムの構築とねらい・工夫

- グループで“焚き火”を囲んで対話を通して、心と体を解き解してフラットな関係性を構築した上で対話・共感や内省を促すことで、新たな発想を生み出せる環境を整えている。
- さらに、施設内の多様な環境を活かして、ホールでの全員での共有、炊事等の協働作業や焚き火による緩やかな対話、個室での内省などの離合を繰り返すように工夫。
- 加えて、絶対抗うことができない浅間山の噴火等の自然に対峙したり、北軽井沢の自然を多角的に活かしながら地域と自然と共生する(有)きたもっくの6次産業化事業等に学ぶ中で、視野を拡げたり視点を変えて、新たな発想が生み出せるようにしている。

プログラムの効果、担当者・参加者の声

[効果] リラックスできる自然環境に身を置くことで、働く中での幸せや日頃の業務の課題や悩み、目指したいことを共有し、相互理解と協力できる部分を発見し合うことで、チームビルディングに繋げ、チームメンバーがひとつの目標に向かっていく契機としている。

[担当者の声] 自然の中で焚き火を囲んで話すことで、これまでなかった深い議論や内省ができるという声が多い。同じような施設を各事業所の近くで持てないかという声もある。

[参加者の声] 「自然の空間の中にいることで自分の気持ちもさらけ出し、お互いの人柄を知り、関係性を構築することで、合宿後も会話がしやすくなるチカラを感じています」

「森のプログラム」導入事例

- ① TAKIVIVA合宿（チーム/プロジェクトメンバー単位での利用、1泊2日、詳細は下記参照）
- ② 幸せワークショップ（社員・グループ会社・販売店向け、経営者・自治体向け、1泊2日）



プログラム事例

◆TAKIVIVA合宿（1泊2日）

日程	プログラム	ねらい・内容
1日目	TAKIVIVA案内 合宿趣旨説明	
	自己紹介	働く中での幸せや現在の課題・悩み共有
	次期企画について議論 ①グループ毎に議論(@火野間) ②全員で議論内容の発表会(@ホール)	①焚き火を囲んでグループ毎で議論 ②輪になって全体で考え、悩みを共有
	かまど炊飯・夕食(@炊火食房)	グループ間での対話
	語らいの時間(@火野間)	焚き火を囲んで対話
	就寝(@ReGo)	個室で内省の時間
2日目	前日ラップアップ 次期企画の方向性決め ①グループ毎に議論(@火野間) ②全員で議論内容の発表会(@ホール)	前日の議論の内容をふりかえり・確認 ①焚き火を囲んでグループ毎で議論 ②輪になって決意に耳を傾ける
	片付け・撤収	